



森の楽校だより

VOL. 12

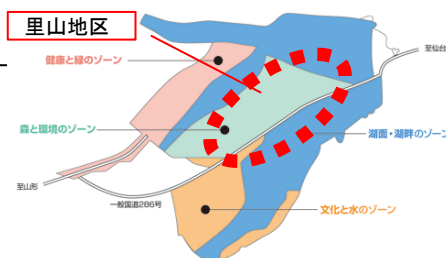


森の楽校とは？

みちのく公園里山地区は、雑木林におおわれた森のエリアです。人と自然のかかわりや、生物多様性について学び体験できる里山として、平成 26 年に開園を予定しています。

市民が身近な自然に親しみ、里山活動に気軽に参加する機会を設けるため、昨年度に引き続き、「みちのく森の楽校」を開催します。「森の楽校」では、森に係るさまざまな活動を楽しみながら、これからの里山と人のかかわりを築いていきます。

平成 24 年度は活動の拠点となるツリーハウスづくりを中心にビューポイントや園路づくり、施設づくりなど活動の場を広げていきます。



9月22日（土）晴れ セカンドデッキづくり、周辺整備

里山は秋の空気に包まれて、さわやかな1日でした。

先日までの残暑もひと段落つき、セカンドデッキの作業に並行して、ツリーハウス周辺の下草刈りや伐根、整地など周辺の整備も行っています。



朝のミーティング

集合場所で朝礼を行った後、活動場所へ移動し、現場ミーティングを行います。ここでは実際の現場の状況を確認した上で、その日の作業段どりや分担を決めます。そして「安全第一」を再確認し、本日の作業開始です。



セカンドデッキづくり

引き続き、板の製材作業を行いながら、セカンドデッキに床板を張りました。この後は、10cm 程度の丸太を使って、手摺などの材料加工を行います。



周辺整備

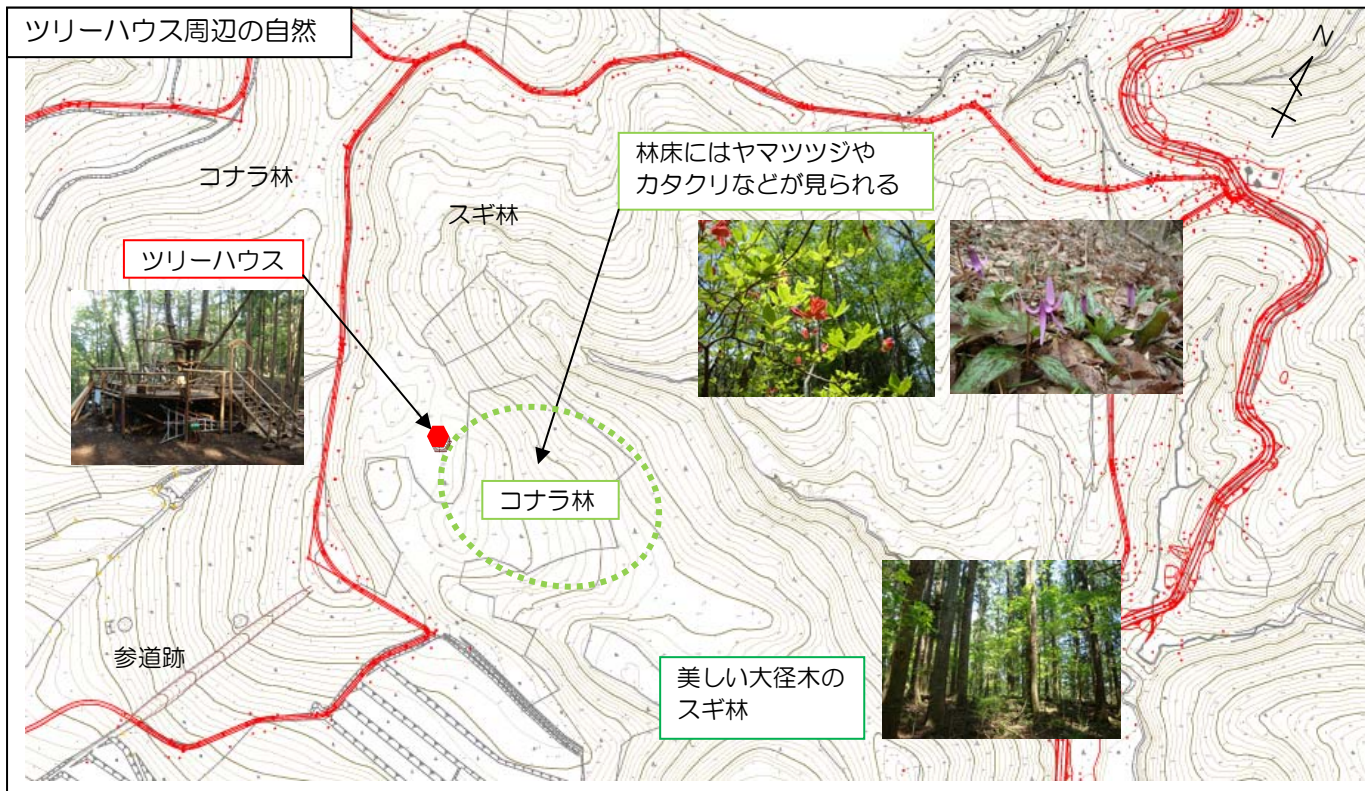
夏の盛りを過ぎ、ツリーハウス南側の下草刈りをしました。また、伐倒の際に残った、切株なども伐根し、ツリーハウス周辺を整備していきます。



ツリーハウス周辺の自然

ツリーハウスの南西には比較的緩やかな斜面にコナラ林があり、コナラ、エゴノキ、ホウノキなどの落葉樹が自生しています。また、林床にはヤマツツジ、カタクリの群落などの草花を見ることができます。秋以降は、林床の草花などに注意しながら、下草刈りなど森の手入れも行っていきます。

ツリーハウス周辺の自然



初秋の草花

以前にも紹介したアズマレイジンソウが花を咲かせました。この植物はトリカブトの仲間、毒性があります。



アズマレイジンソウ



シロヨメナ



センダイトウヒレン